

# 学 校 便 り



<http://www.katsushika-sh.metro.tokyo.jp>

## 地域連携の大切さ

校長 山崎 久美

関東各地では紅葉の見ごろを迎え、秋の深まりを感じるとともに、朝夕の寒さが増してきており、冬の訪れが近づいていることも感じる季節となりました。朝夕と日中の寒暖差が大きく、体調を崩しやすい時季です。体調管理には、十分にお気を付けください。

コロナ対応では、人流の制限が解除され第6波への懸念がされていましたが、東京都の新規感染者数は一桁の日もあり、低水準で落ち着いているので、このままの状況が続くことを願うばかりです。

さて、これまで感染症拡大防止のために実施できなかった作業学習の外部販売ですが、11月17日に「おーぷんはうす金町」にて実施しました。代表の生徒たちが、食品加工班のショートブレッドやラスク、ものづくり班のポチ袋を地域の皆様に販売しました。生徒たちは、自分たちが一生懸命に作り上げた製品を、お客様が嬉しそうに買ってくれる姿を見て、とても喜んでいました。「おーぷんはうす金町」では、10年ほど前から販売をさせていただいています。お店の方からも「コロナ禍の中、実施ができず残念に思っていたので、やっと販売にきていただけて嬉しいです。応援しています。」ということでも温かいお言葉をいただきました。

また、11月20日には、「金町バルト・オープンイベント」に教員、管理職が参加し、食品加工班、ものづくり班、手工芸班の製品を販売しました。お客様には、地域の方のほか、製品を作成した生徒や保護者の方、元本校職員、卒業生の保護者の方などたくさんの方が来てくださいました。中には、「第8期生です。元気に働いています。懐かしいです。在校生によろしくお伝えください。」と話す卒業生や「今後、葛飾特支に通うと思います。買って行きます。」と、写真を撮っていく親子もいました。さまざまな方々とのやり取りをとおして、改めて地域連携の大切さを痛感しました。地域に開かれた学校としての教育活動を行ってまいります。なお、保護者向けの作業販売は、学習発表会の午後に実施いたしますので、御期待ください。

最後になりましたが、学校評価アンケートを御提出いただきありがとうございました。この後、集計作業を進めていきます。結果をまとめ、改善策につきましては、学校運営連絡協議会の委員の皆様から御意見をいただき、検討してまいります。すぐに改善できる点については、早急に対応し、来年度以降に反映するものについては3学期にお伝えします。

## 感染症対策を踏まえた行事等の活動再開を通して

副校長 今野 昌人

11月11日から13日の期間に感染症対策を講じて授業参観を実施いたしました。学習活動の様子を実際に観ていただけたことで、生徒の成長を実感できる機会となったと感じています。保護者の皆様からいただいたアンケートからは、生徒の楽しそうな様子や頑張っている様子それから、授業に関することや教員の指導・支援についてたくさんの御意見や御感想をいただきました。これからの授業改善や指導・支援の工夫に生かして行きたいと思っております。ありがとうございました。

さて、校外での活動再開に伴い11月19日に2年生の校外学習（東京駅周辺）を実施いたしました。各クラスの生徒自身が活動計画を作成して、限られた活動時間の中で計画を実行していました。東京駅の構内はとて広く歩行の距離も想像以上です。計画の変更を考えるにあたり、生徒同士で話し合ったり教員に相談したりして計画の調整をしていました。校外の場において、集団活動で大切なことを意識して行動できたことに、これまで学んできたことが確実に生徒一人一人に積み重なっていると感じました。そして、現在準備や練習に取り組んでいる学習発表会が、12月2日から12月4日の期間で行われます。生徒たちは感染症対策を徹底しながら、各クラスや学年の友達と協力して当日の発表に向けて頑張っています。学習発表会の参観については、授業参観と同様に感染症対策を講じての実施となります。御理解、御協力の程、よろしくお願い申し上げます。